

『たまげ大福だっちゃ』



2011年9月23日～
大沼製菓の店頭・HPにて
販売中！

支援金付のお菓子です。



* 『たまげ大福だっちゃ』とは *

3.11 東日本大震災の大きな被害を受けた宮城県女川町にある女川高校の生徒たちが、「自分たちから地域を元気にしたい！」「東北を応援してくれる人に感謝の気持ちを伝えたい！」という想いで「笑顔・幸せ・楽しくなれる」をコンセプトに開発したミニ大福セットです。支援団体「Colabo」（東京都）と「大沼製菓」（石巻市）の協力によって商品化・販売されています。

* 学校・地域紹介 *

震災発生時に人口1万14名だった女川町では、震災で800名以上が亡くなりました（2012年10月末時点）。震災発生時に4411棟あった住宅のうち66.3%の2924棟が全壊し、半壊・一部損壊の家も合わせると約9割の家が被害を受けました。女川高校の校舎も被災し、損傷を受けましたが、震災後の数週間は避難所となっていました。校舎の壁はひび割れ、天井には穴が開き、窓ガラスも割れ、雨の日は雨がそのまま校舎内へ入るため、一年以上の間校舎にはカビが発生していきました。また震災後、高校のグラウンドには仮設商店街が建設され、運動部の練習も。

女川高校は2014年3月をもって閉校しますが、閉校後も『たまげ大福だっちゃ』の販売は続く予定です。この町に高校がなくなった後も、このお菓子が地域の人に愛され、全国の方々に東北を思い出すきっかけにもらえることを願っています。（震災後の女川町の様子→）



* 商品開発ミーティングの様子 *

6月から3ヶ月間、毎週ミーティングを繰り返し行い、商品の素材・形・色・味・商品名やパッケージまで、全て高校生が中心となって考えました！



* コンセプト・味 *

「笑顔・幸せ・楽しい」をイメージした色・味になっています。



生徒の中にも津波で家を流され、仮設住宅で生活をしている人もいますが、「ここ女川から、私たち高校生から元気を発信していこう」「被災した皆さんや、復興のお手伝いをしてくれている皆さんに元気をしたい！」という想いで開発しました。

（仮設住宅の前で→）



* 販売価格 *

1セット120円。1つにつき5円が支援金となり、「地域復興のために高校生が行う活動資金」となります。全国のお祭りや学園祭、バザー、企業のイベントなどで販売協力をしてくださる方も募集しています。

* 活動が本になりました！ * 『難民高校生—絶望社会を生き抜く私たちのリアル』（仁藤夢乃著・英治出版）

「たまげ大福だっちゃ」が出来るまでのエピソードや、震災後の高校生たちの想いが本になりました。全国の書店やAmazonなどで、販売されています。ぜひ、ご覧ください！



* 問い合わせ *

- 大沼製菓 : <http://www.onuma-seika.co.jp/index.html>
- 女川高校 : <http://onagaw-h.myswan.ne.jp/colaboframe.html>
- 一般社団法人 ColaboHP : <http://colabo-official.com/>

商品のご購入・イベントなどでの販売・出店のご相談は大沼製菓へ！

イベントへの出演や講演のご依頼はColaboへご連絡ください。



* 2013年度新商品！女川 AGAIN ボウル！ *

閉校に向け、震災後の感謝と「これからもよろしく」「また女川に来てね」という想いを込めて「ありがとう・よろしく・またね」をコンセプトに女川高校生がクッキーの新商品を開発しました！こちらに合わせて、よろしくお願ひします♪

